

保証とアフターサービス

1 この商品には保証書がついています。

保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みの上大切に保管してください。

2 保証期間はご購入の日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3 保証期間後の修理は・・・

販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注) 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのご質問は

株式会社 シー・シー・ピー サービスセンター

TEL.03-3527-8899 FAX.03-3527-8956

営業日：月曜～金曜（但し、祝日は除きます）お電話受付時間 9：30～17：00

〒135-0064 東京都江東区青海3丁目2番17号
ワールド流通センターA棟 ユニエックス倉庫内

愛情点検

長年ご使用のアイロンの点検を!



このような症状はありませんか?

- 電源を入れてもときどき運転しないことがある。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、ただちに使用を止め、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。

株式会社 シー・シー・ピー 本社：〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4

OMO

キリトリ線

コンパクトスチーマー&アイロン 保証書

持込修理

| | | | |
|------------|----------|--------------|--|
| 品番 | GC-J15 | | |
| お客様 | お名前 | | |
| | ご住所 | 〒 | |
| 電話番号 () - | | | |
| お買い上げ日 | 年 月 日 | 取扱販売店名 | |
| 保証期間 | お買い上げ日より | 対象部分 | |
| | 1年 | 本体 消耗品は除く | |

本書はお買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照下さい。

株式会社 シー・シー・ピー

〒111-0043 東京都台東区駒形 2-5-4

取扱説明書

保証書付

コンパクトスチーマー&アイロン

品番 GC-J15

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

◎ご使用前に

| | |
|--------------------|---|
| 安全上のご注意—必ず守ってください— | 2 |
| 使用上のご注意 | 4 |
| 繊維製品の表示と温度設定 | 5 |
| 各部のなまえ | 6 |

◎使い方

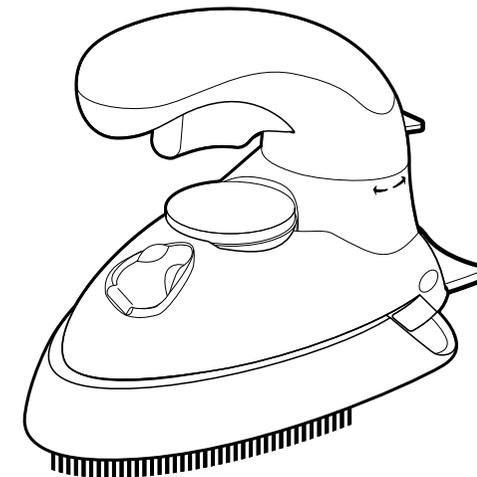
| | |
|---------|---|
| 上手な使いかた | 7 |
| 使いかた | 8 |

◎お手入れ

| | |
|--------|----|
| お手入れ | 14 |
| 収納のしかた | 16 |

◎困ったときに

| | |
|--------------|----|
| 故障かな!?!と思ったら | 17 |
| 仕様 | 18 |
| 消耗品/交換部品 | 19 |
| 保証とアフターサービス | 巻末 |
| (保証書) | 巻末 |



家庭用

この商品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源・電圧が異なりますので使用できません。

This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.

ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

◎ここに示した注意事項は、本商品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を表わす図記号です。

| | | |
|--|-----------|--|
| | 危険 | 「人が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される内容」を表わしています。 |
| | 警告 | 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表わしています。 |
| | 注意 | 「傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表わしています。 |

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

- してはいけない「禁止」の内容を表わしています。
- 必ず実行していただく「強制」の内容を表わしています。

警告

水につけたり、水をかけたりしない。
風呂場などの水場では絶対に使用しない
水ぬれ禁止 感電・ショート・火災の原因になります。

子供だけで使用させない
けがの原因になります。

電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
使用禁止 感電・ショート・発火の原因になります。

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する
単独で使用 ほかの機器と併用すると、発熱により故障・火災の原因になります。

改造はしない。また、修理技術者以外の人には、分解したり修理をしない
分解禁止 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(→巻末参照)

本体に乗らない
けがの原因になります。

お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く
プラグを抜く 感電やけがの原因になります。

本体のすき間にピンやコイン・針金などの金属異物を入れない
禁止 感電やけが、火災の原因になります。

異常時（焦げくさいなど）は、運転を停止して差し込みプラグを抜く
プラグを抜く 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(→巻末参照)

電源コードや差し込みプラグが破損した状態でアイロンを使用しない
プラグを抜く 使用中に破損を見つけたときは、直ちに本体の温度調節ダイヤルを「切」にし、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。電源コードや差し込みプラグの破損については、感電またはけがのおそれがあるため当社サービスセンターにご連絡いただき、修理交換しなければいけません。(→巻末参照)

ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない
ぬれ手禁止 感電・ショートの原因になります。

警告

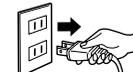
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない
禁止 また、重いものをのせたり、はさみこんだりしない
電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
使用禁止 爆発や火災の原因になります。

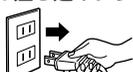


注意

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く
プラグを抜く 感電・事故の原因になります。



差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く
プラグを持って抜く 電源コードが傷み、ショート・発火の原因になります。



熱いアイロンに電源コードを巻きつけない
禁止 ショート・発火の原因になります。

不安定な場所には置かない
禁止 転倒してけがや故障の原因になります。

アイロン通電中はアイロンから離れない
禁止 漏電・火災の原因になります。

脱水直後の衣類などにアイロンがけをしない
使用禁止 故障の原因になります。

スチームを人に向けない
禁止 やけどの原因になります。

落としたり、強い衝撃を与えない
禁止 けがや故障の原因になります。

高温、湿気が多いところで使用しない
使用禁止 漏電して感電・火災の原因になります。

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を行なう
プラグの点検 コンセントにほこりがたまっていると湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。

◆おもわぬ事故を防ぐために…

- ・コンセントのまわりにほこりをためないようときどき掃除をする。
- ・差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- ・コンセントや電源コードに異常がないか確かめる。
- ・差し込みプラグを差し込むとき、コンセントにゆるみがないか確かめる。
- ・コンセントが発熱し火災の原因になります。

かけ面を接触したまま放置しない
禁止 火災の原因になります。



高温部（かけ面、スタンド、スチーマーブラシ、水タンクの下部）に手を触れない
禁止 やけどの原因になります。

ハンドル部分は強い力で押さえずぎない
禁止 破損の原因になります。

油成分が浮遊している場所で使用しない
使用禁止 ひび割れによるけがの原因になります。

差し込みプラグを抜き差しするときは、必ず温度調節ダイヤルを「切」にしてから抜き差しする
電源スイッチを切る 感電・故障の原因になります。

直射日光があたるところに置かない
禁止 変形・変色の原因になります。

使用上のご注意

故障や事故などを防ぐために、必ずお守りください。

- 本商品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
- ボタン・ファスナーなど、固いものにアイロンがけをしないでください。かけ面が傷つき、すべりが悪くなります。
- 水の補充は、付属の計量カップを使用し、MAXライン(40ml)を超えないようにしてください。
水があふれ、故障の原因になります。
- 水道水以外の液体(ミネラルウォーター・香料など)を水タンクに入れないでください。
水タンクの破損やスチーム穴の目詰まり、衣類を汚す原因になります。
- スチームアイロンとしてご使用になるときは、スプレーのりを使わないでください。
アイロンのすべりが悪くなります。
- 通電直後にスチームレバーを操作しないでください。
温度があがる前にスチームレバーを操作すると、かけ面から水が漏れることがあります。
- スチームレバーは2秒程度の間隔をあけて操作してください。
間隔をあけずに連続してスチームレバーを操作すると、湯滴が噴き出してやけどの原因になります。
- 使用後に商品を移動する場合は、本体が十分に冷めてから移動してください。
やけどやけがの原因になります。
- ハンドルをまわしたりスチーマーブラシを取り付けたり取りはずしたりする場合は本体が十分に冷めてから行なってください。
特に使用直後はやけどやけがの原因になります。
- 幼児の手の届くところに放置しないでください。
特に使用直後はやけどやけがの原因になります。
- 電源コードを持って引っ張ったり、釘などにかけないでください。
電源コードが傷む原因になります。
- 電源コードの付け根に無理な力を加えないでください。
電源コードが傷む原因になります。
- ご使用にならないときは必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

【お知らせ】

アイロンのタンク内部に微量の水が残っている場合がございますが、これは製造工程上での通水検査にともなうものです。異状ではございませんので、ご安心のうえお使いください。

繊維製品の表示と温度設定

おかけになる布地に日本工業規格(JIS)で定められた絵表示がある場合は、絵表示にしたがって、温度調節をしてください。

絵表示と温度の関係

| 繊維製品の絵表示 |  低 |  中 |  高 | |
|--------------|---|---|---|-----------|
| 衣類・布地の種類 | アクリル・アクリル系・ポリウレタン・ポリプロピレン | 絹・ナイロン・ビニロン・レーヨン・キュブラ・ポリエステル | 毛 | 綿麻 |
| 温度設定位置 | 低 | 中 | 中・高の中間 | 高 |
| かけ面の温度 | 約80~100℃ | 約120~140℃ | 約140~160℃ | 約175~195℃ |
| 設定温度になるまでの時間 | 約22秒 | 約29秒 | 約38秒 | 約46秒 |

絵表示の見かた

| | |
|---|---------------------|
|  | 〜線は指示温度であて布をする意味です。 |
|  | 指示温度で布地の裏からかける意味です。 |
|  | アイロンがけはできません。 |
| その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示にしたがってください。 | |

- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 絵表示のない場合は、繊維名にしたがって、温度を合わせてください。
- 使用中にアイロンをやめたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地にあった温度でも布地を傷める場合がありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維(化繊・絹・毛など)にアイロンをかけるときは、あて布をするか、目立たない部分に試しがけをして、異常のないことを確認してからかけてください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンをかけないでください。
- 混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。

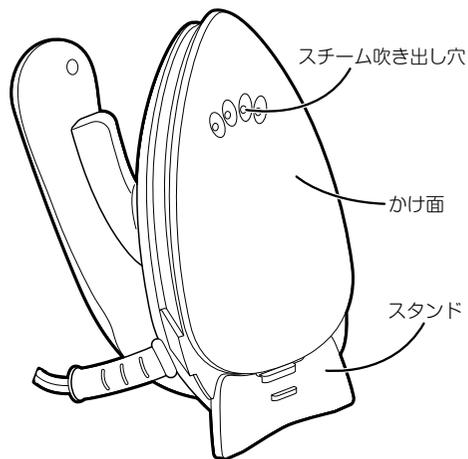
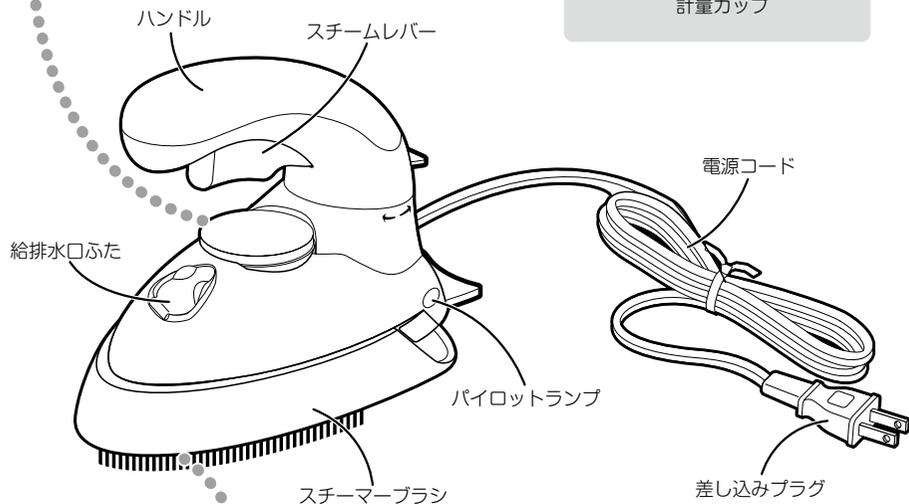
各部のなまえ



付属品



計量カップ



上手な使いかた

アイロンの上手な使いかた

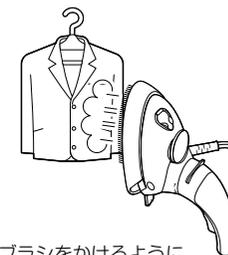
- アイロンを往復させると衣類に余分なシワができますので一定方向に動かしてください。
- 折り目をつけたい場所やガンコなシワの部分は、しっかりと押しつけアイロンがけします。
- 高温で使用したあとは、温度が下がりにくいため、低い温度設定の衣類から順にかけるようにします。衣類を傷めることなく、効率的にアイロンがけできます。
- スプレーのりを使用する場合は、スチームを使用せず必ずドライアイロンとしてアイロンがけします。
- アイロン台はスチームがよく通るものをご使用ください。衣類へのスチームの通りがよくなり、きれいな仕上がりになります。通り抜けたスチームでやけどのおそれがありますのでご注意ください。
- 毛足の長い繊維は、かけ面を衣類にあてず、浮かせてスチームをあてるようにしてください。



一定方向に動かす

スチーマーの上手な使いかた

- 背広などの上着は、ハンガーにかけた状態で衣類の裾、袖の端を引っ張りながら、軽くブラシをかけるようにスチームをあてます。
- シワが取れにくい場合は、スチーマーを衣類に近づけて、スチームを多めに吹きつけてください。
- 毛足の長い繊維はスチーマーを衣類から少しはなして、スチームを吹きつけたあと、ブラシをかけをしてください。
- 衣類についたにおいなどが気になる場合は、衣類全体にスチームを吹きかけてから陰干ししてください。高温スチームの力でにおいを取ります。
- カーテンやカーペットなど、日常的に洗濯できないものにスチームをあてると、におい取りの効果がありません。シワ取りやくせ取りにもご使用になれます。
- スチーマーではシワが取れにくい綿や麻などの繊維は、霧吹きをして、ドライアイロンがけすることをおすすめします。



ブラシをかけるようにスチームをあてる

⚠ 注意

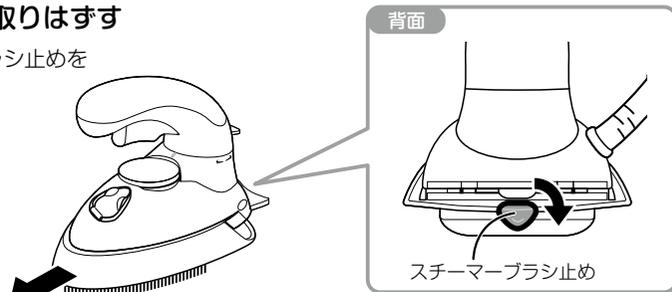
差し込みプラグをコンセントに差し込むときは、必ず温度調節ダイヤルを「切」にしてから差し込む。温度調節ダイヤルを「切」以外にしたままコンセントに差し込むとかけ面が熱くなり、やけどの原因になります。

電源コードの根元に負荷をかけない
破損・火災・感電の原因になります。

アイロンとしての使いかた

1 スチーマーブラシを取りはずす

本体背面のスチーマーブラシ止めをまわしてはずします。

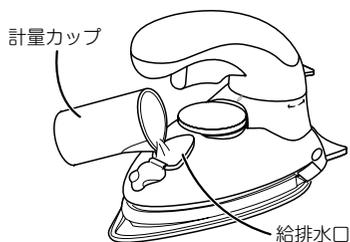


⚠ 注意

かけ面の温度が高いときはスチーマーブラシの脱着をしない
やけどや破損の原因になります。

※スチームを使用するときは、付属の計量カップを使用して水道水を給排水口から入れ、給排水口ふたを閉じます。

Point 必ず付属の計量カップを使用して、水道水を給水してください。



⚠ 注意

ミネラルウォーターや香料などは使用しない
故障の原因になります。

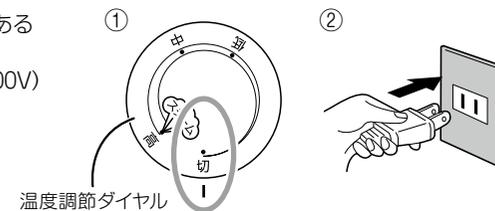
計量カップのMAX表示 (40ml) をこえる水は入れない
水があふれ、故障の原因になります。

給排水口ふたはしっかりと閉じる
水漏れの原因になります。



2 差し込みプラグをコンセントに差し込む

- ① 温度調節ダイヤルが「切」の位置にあることを確認します。
- ② 差し込みプラグをコンセント (交流100V) に確実に差し込みます。

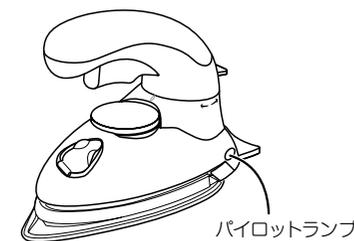
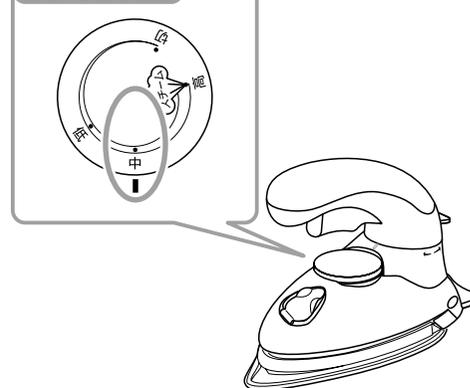


3 温度調節をする

- ① 温度調節ダイヤルをまわして布地に適した温度に合わせます。

- ② パイロットランプが点灯して、かけ面の温度が上昇します。設定温度になるとパイロットランプが消灯して、アイロンがけの準備が整ったことをお知らせします。

温度調節ダイヤル

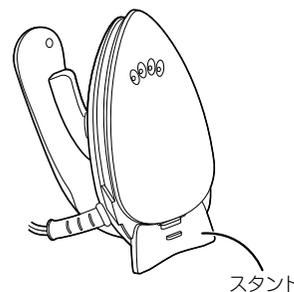


Point

設定した温度を一定に保つため、温度調節機能で自動的に電源のオン・オフをくり返しています。この電源のオン・オフにともなってパイロットランプも点灯・消灯をくり返します。

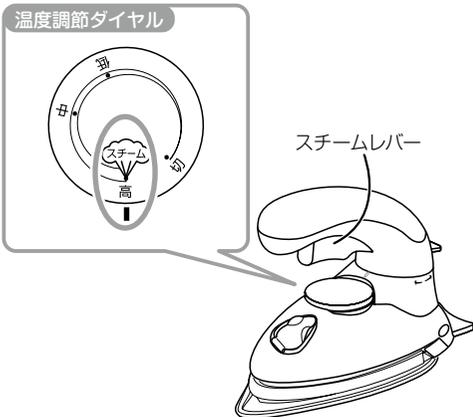
⚠ 注意

本体は必ず立てた状態を保持する
やけどや火災の原因になります。



4 スチームを使用する

温度調節ダイヤルを「スチーム」に合わせ、スチームレバーを約2秒間隔でくり返し操作しながら使用します。



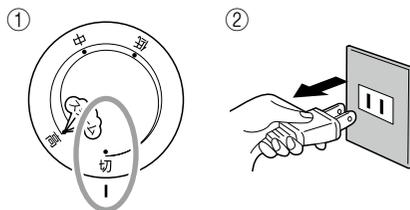
⚠ 注意

間隔をあげずに連続でスチームレバーを操作しない
湯滴が噴き出し、やけどの原因になります。

- 温度が上昇する前（パイロットランプが消灯する前）にスチームレバーを操作しないでください。
スチームの吹き出し穴から湯滴が出て、やけどや衣類を汚す原因になります。
- 前回使用したときの水が水タンク内に残っている場合、電源を入れたときにスチームの吹き出し穴からスチームが噴き出す場合がありますのでご注意ください。
- はじめてご使用になる場合や長期間ご使用にならなかった場合は、スチームが出づらことがあります。
スチームレバーの操作を数回くり返すと正常な状態になります。

5 差し込みプラグをコンセントから抜く

- ①使用後は温度調節ダイヤルを「切」にします。
- ②差し込みプラグをコンセントから抜きます。



6 水タンク内の水を捨てる

スチームを使用した場合は、アイロンが十分に冷めてから、給排水口ふたを開いて、タンク内に残った水を排水します。



⚠ 注意

排水のときは水が本体にかからないようにする
故障の原因になります。

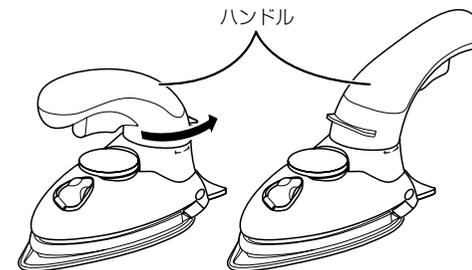
スチームとしての使いかた

1 ハンドルをまわす

ハンドルは矢印の方向に180°回転します。

⚠ 注意

ハンドルを逆方向にまわさない
故障の原因になります。



2 スチーマーブラシを取り付ける

本体背面のスチーマーブラシ止めをまわして、スチーマーブラシを固定します。



⚠ 注意

かけ面の温度が高いときはスチーマー
ブラシの脱着をしない
やけどや破損の原因になります。

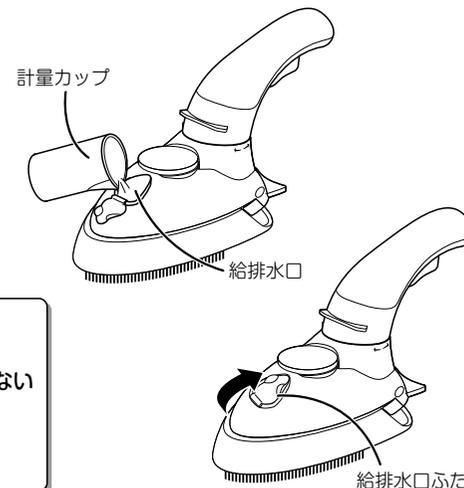
3 水タンクに水を入れる

付属の計量カップを使用して水道水を給排水口から入れ、給排水口ふたを閉じます。

Point 必ず付属の計量カップを使用して、
水道水を給水してください。

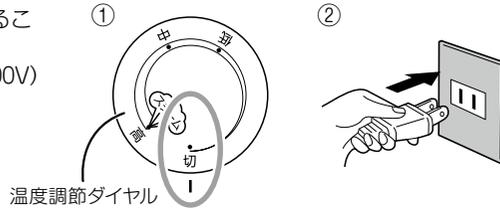
⚠ 注意

ミネラルウォーターや香料などは使用しない
故障の原因になります。
計量カップのMAX表示（40ml）をこえる水は入れない
水があふれ、故障の原因になります。
給排水口ふたはしっかりと閉じる
水漏れの原因になります。



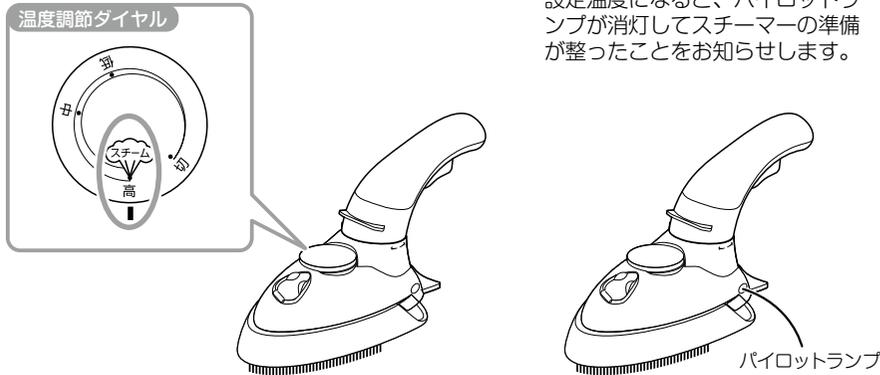
4 差し込みプラグをコンセントに差し込む

- ①温度調節ダイヤル「切」の位置にあることを確認します。
- ②差し込みプラグをコンセント（交流100V）に確実に差し込みます。



5 温度調節ダイヤルを「スチーム」にする

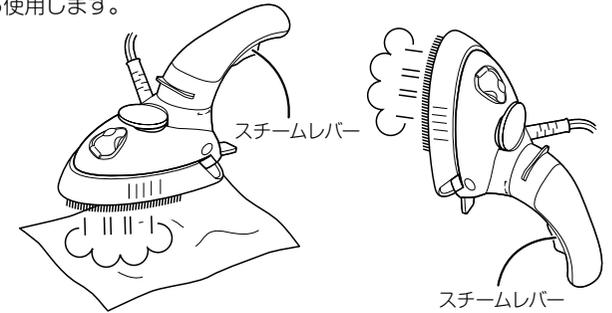
- ①温度調節ダイヤルを「スチーム」に合わせます。
- ②パイロットランプが点灯して本体の温度が上昇します。設定温度になると、パイロットランプが消灯してスチーマーの準備が整ったことをお知らせします。



- 温度が上昇する前（パイロットランプが消灯する前）にスチームレバーを操作しないでください。スチームの吹き出し穴から湯滴が出て、やけどや衣類を汚す原因になります。
- 前回使用したときの水が水タンク内に残っている場合、電源を入れたときにスチームの吹き出し穴からスチームが噴き出す場合がありますのでご注意ください。
- はじめてご使用になる場合や長期間ご使用にならなかった場合は、スチームが出づらことがあります。スチームレバーの操作を数回くり返すと正常な状態になります。
- 着たままの衣類へはご使用にならないでください。やけどの原因になります。
- 革製品や着物へはご使用にならないでください。衣類を傷める原因になります。
- ご使用後のスチーマーブラシは熱くなっておりますので、取り扱いにご注意ください。

6 スチームを使用する

本体を水平またはハンドルが下になるように垂直にして、スチームレバーを約2秒間隔でくり返し操作しながら使用します。

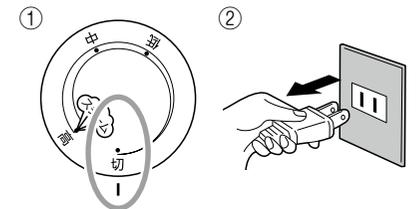


注意

間隔をあげずに連続でスチームレバーを操作しない。湯滴が噴き出し、やけどの原因になります。

7 差し込みプラグをコンセントから抜く

- ①使用後は温度調節ダイヤルを「切」にします。
- ②差し込みプラグをコンセントから抜きます。



8 水タンク内の水を捨てる

アイロンが十分に冷めてから、給排水口ふたを開いて、タンク内に残った水を排水します。



注意

排水のときは水が本体にかからないようにする。故障の原因になります。

⚠ 警告

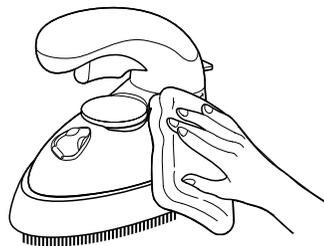
必ず電源を切って行ない、お手入れ中も温度調節ダイヤルに触れない誤って電源が入り、おもわぬけがの原因になります。
お手入れの前に、必ずコンセントから差し込みプラグを抜く感電・けが・やけどの原因になります。

⚠ 注意

- シンナー・ベンジン・アルコール・みがき粉などは使用しない
変色や故障の原因になります。
- 本体の丸洗いはしない
故障の原因になります。

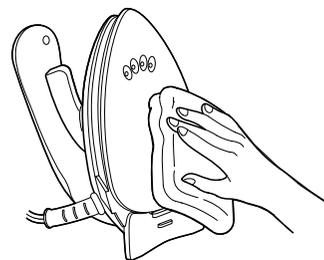
本 体

水を含ませ、固く絞ったやわらかい布で本体の汚れをふき取ります。



かけ面

スプレーのりをご使用になったあとは、水を含ませ、固く絞ったやわらかい布で、そのつどかけ面を拭いてください。
のりが付着したままでご使用を続けると、かけ面が焦げたりする場合があります。

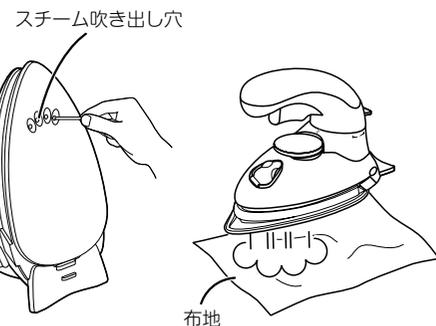


⚠ 注意

金属ブラシやみがき粉などは使用しない
かけ面に傷がつきます。

スチーム吹き出し穴

つまようじなどでゴミやほこりを取り除き、ご不要の布地などへ、数回スチームを吹きつけてください。



⚠ 注意

金属製のピンや針などは使用しない
かけ面を傷つける原因になります。

アイロン内部

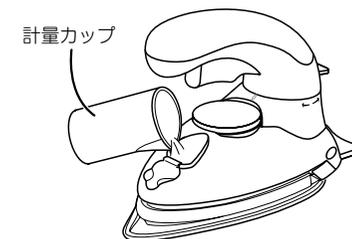
ご使用回数10回に1回程度、アイロンの内部をお手入れしてください。

⚠ 注意

上水道の水は、カルシウムなどのミネラル分を含んでおり、ご使用に応じて水あかとしてアイロン内に残っていきます。水あかのお手入れをしないでご使用を続けると、目詰まりして、スチームが出なくなる原因になります。

1 水タンクに水を入れる (⇒8,11p参照)

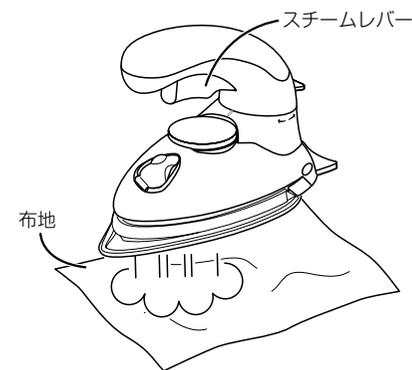
計量カップ1杯分 (約40ml) の水道水を水タンクに入れます。



2 スチームレバーを連続で操作する

不要なタオルなどの布地にスチーム吹き出し穴を向け、スチームレバーを連続で操作します。

- アイロン内部に付着した水あかが水に流れ、スチーム吹き出し穴から水滴とともに排出されます。



3 アイロン内部を乾燥させる

洗浄後は、差し込みプラグをコンセントに差し込んで、温度調節ダイヤルを「スチーム」の位置に合わせてアイロン内部を乾燥させてください。

- 電源を入れると、スチーム吹き出し穴からスチームと湯滴が噴き出しますので、アイロンのかけ面を不要な布地に向けてください。

Point お手入れのあとは、アイロンのかけ面などに湯滴が残りますので、水分をよくふき取ってください。

収納のしかた

長期間ご使用にならない場合は、お手入れのあと、
ご購入時の梱包箱に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。

1 本体の温度調節ダイヤルを「切」にし、電源をOFFにする (⇒10,13p参照)

2 水タンクから水を抜き出し、お手入れをする (⇒15p参照)

⚠ 注意

水タンクはお手入れをして、水分をよく乾燥させてから保管する
水分が残ったまま長期間保管すると悪臭やカビが発生する原因になります。

3 ご購入時の箱などに入れて保管する

ACアダプターはコードを軽く束ねて保管してください。

Point 使用直後はかけ面が熱くなっておりますので、十分に冷めていることを確認して保管してください。

故障かな!?と思ったら

⚠ 警告

修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災、感電、けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。(→巻末参照)

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

| こんなときは | 原因・調べるところ | 直しかた |
|-------------------|--|--|
| ・熱くならない | <ul style="list-style-type: none"> 差し込みプラグがコンセントに差し込まれていない 温度調節ダイヤルが「切」になっている | <ul style="list-style-type: none"> 差し込みプラグを確実に差し込む 9.12p参照 温度調節ダイヤルを布地にあった温度に合わせる 9p参照 |
| ・スチームが出ない、量が少ない | <ul style="list-style-type: none"> 水タンクに水が入っていない 温度調節ダイヤルがスチームの位置になっていない スチーム吹き出し穴が汚れている | <ul style="list-style-type: none"> 水を補充する 8.11p参照 温度調節ダイヤルをスチームの位置にする 10.12p参照 スチーム吹き出し穴をお手入れする 14p参照 |
| ・スチーム吹き出し穴から湯滴が出る | <ul style="list-style-type: none"> 温度調節ダイヤルの位置が違っている 温度が上昇する前に使用している スチームレバーを連続して早く操作している | <ul style="list-style-type: none"> 温度調節ダイヤルを正しい位置に合わせる 9p参照 パイロットランプを確認して温度が上昇するまで待つ 9p参照 2秒程度の間隔でスチームレバーを操作する 10.13p参照 |
| ・かけ面のすべりが悪い | <ul style="list-style-type: none"> スプレーのりを使用した布地にスチームしている かけ面が汚れている | <ul style="list-style-type: none"> ドライアイロンがけをする 7p参照 お手入れのしかたにしたがって掃除をする 14p参照 |
| ・布地が焦げる、縮む | <ul style="list-style-type: none"> 布地にあった温度調節がされていない 高い温度に設定されている | <ul style="list-style-type: none"> 温度調節ダイヤルを布地にあった位置に合わせるか、あて布をしてください。 9p参照 |

修理を依頼される場合は「保証とアフターサービス」(巻末)をご覧ください。

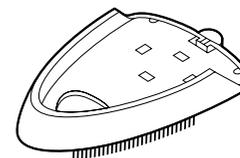
| | |
|----------|---------------------------|
| 品番 | GC-J15 |
| 電源 | AC100V 50-60Hz |
| 消費電力 | 700W |
| 蒸気発生方式 | 滴下式 |
| 水タンク容量 | 40ml |
| 温度過昇防止装置 | 温度ヒューズ240℃ |
| かけ面の面積 | 約85cm ² |
| 外形寸法 | 幅170×奥行105×高さ135mm (本体のみ) |
| 本体質量 | 630g (スチーマーブラシ含む) |
| 電源コードの長さ | 約2.5m |
| 付属品 | 計量カップ |

※品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。

お買い上げの販売店または当社サービスセンターでお買い求めください。(→巻末参照)

◎消耗品

スチーマーブラシ



EX-3574-00

◎交換部品

計量カップ



EX-3037-00

----- キリトリ線 -----

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご提示ご持参いただきお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げ販売店または当社サービスセンターにご相談下さい。
- ご贈答品等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば、業務用としての使用）に使用された場合の故障及び損傷

(ヘ) 本書のご提示がない場合

(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

※This warranty is valid only for Japan.